

ミュージアム・レター

Gakushuin University
Museum of History

Museum Letter No.11

発行日 ● 平成21年(2009)9月15日

もくじ

近代皇族の記憶展	1
山階宮家三代関係図	2-3
『写真集 近代皇族の記憶—山階宮家三代—』のご案内	4
関連展示のご案内	4

1. 近代皇族の記憶展

写真が語る山階宮家三代の暮らし

学習院大学史料館では、旧山階宮家の史料を継承管理されている京都勸修寺より、平成17年に史料寄託を受け、調査研究を進めてまいりました。その成果は『写真集 近代皇族の記憶—山階宮家三代—』（吉川弘文館 2008年）として公表されております。

山階宮家は、幕末、伏見宮家の王子晃親王^{あきら}によって創設された宮家で、二代菊麿王^{きくまろ}、三代武彦王^{たけひこ}で終焉を迎えますが、この三代の方々は、皆、進取の気鋭に富んでおりました。なかでも「写真」は二代菊麿王とその王子や王女達の共通の趣味でした。山階宮家の方々にとっては、写真は趣味であると同時に山階宮家の記録を残す大切な手段でもあったのです。

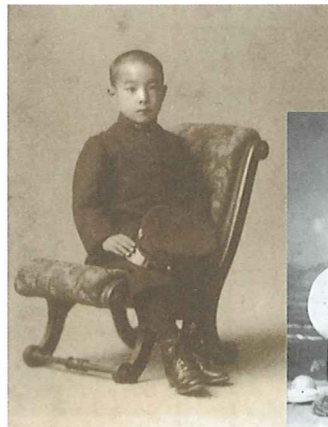
当時、一般にはそれほど普及していなかった写真を撮り、自ら現像し、たくさんの焼付を残しました。その数は千点をはるかに超えます。

これらは「宮家の人々が自ら撮影した」「明治から昭和初期の世相がわかる」等の史料価値を持っています。加えて「宮家の日々の暮らし」の一部が切り取られ、写されているという点で、現代の私たちにとって、とても興味深い生活史料になると言えます。

本展では、『写真集 近代皇族の記憶—山階宮家三代—』の元となった写真のガラス乾板やオリジナルプリントをはじめ、写真集に掲載していない史料、この夏に財団法人山階鳥類研究所より新たに寄託を受けた新収史料を展示いたします。

明治から昭和初期にかけての宮家の暮らしの記録を、ぜひこの機会にご覧ください。

(長佐古美奈子)



萩麿王



明治39年夏、鎌倉にて 武彦王・常子妃

近代皇族の記憶展 写真が語る山階宮家三代の暮らし

2009年10月1日(木)～11月30日(月)

北2号館1階 史料館展示室 入場無料

平日 12:00～17:00

土曜 10:00～12:00

特別開室／10月12日(月・祝) 10:00～17:00

閉室日／日曜・祝日・大学休講日(10/16、17、30、31、11/2)

第59回史料館講座のお知らせ

「映像でみる近代皇族の暮らし」

2009年10月12日(月・祝)

14:00～15:30(予定)

学習院創立百周年記念館 正堂

入場無料・事前申込不要